

都市環境工学専攻

I. 志望区分

以下に示す研究内容を参照し、インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望区分を選択すること。ただし、来年度学生を受け入れることができない志望区分もあるので、予め志望区分の教員と十分に連絡を取り、受け入れの可否を確認するとともに、受験する選考方法及び研究計画等について相談すること。なお、入学後の教育プログラムとして、博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野、博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）のうちから一つを選択できる（Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択を参照のこと）。

志望区分	研究内容 (担当教員)	(平成30年10月現在)
1	環境デザイン工学、都市代謝工学、環境装置工学、資源循環科学、有害化学物質制御 (高岡昌輝教授・大下和徹准教授)	
2	環境衛生学、環境予防医学、環境予防工学（環境化学物質・大気汚染物質等のリスク評価と評価手法、予防・軽減手法の開発） (高野裕久教授・上田佳代准教授)	
3	水環境工学、環境微生物工学、水処理工学、水・資源循環システム、水環境管理 (西村文武准教授・日高平講師・水野忠雄講師)	
4	環境リスク工学、健康リスク評価、環境汚染物質の毒性評価、土壌・地下水汚染管理、地圏生態リスク評価、放射能環境汚染対策 (米田稔教授・島田洋子准教授)	
5	大気・熱環境工学、地球温暖化、地球環境の統合評価、環境政策評価、環境経済分析 (藤森真一郎准教授)	
6	都市衛生工学、環境ヘルスリスク制御工学、高度浄水処理工学、飲料水質のリスクマネジメント、上水道システムのトータルデザイン (伊藤禎彦教授・小坂浩司准教授)	
7	環境質管理、統合的流域管理、環境微量汚染物質の検出・挙動把握・毒性評価・排出制御、水環境天然有機物の特性解析、土壌・地下水汚染・浄化 (清水芳久教授・松田知成准教授)	
8	環境質予測、環境汚染物質及び病原微生物のモニタリング・制御・影響評価、水の再利用、雨天時排水管理、藻類毒素の動態解明、水域生態系保全、汚染源の推定と管理 (田中宏明教授)	
9	環境保全工学、リサイクルシステムと廃棄物管理、循環型社会システム、教育研究機関の環境安全管理 (酒井伸一教授・平井康宏准教授)	
10	安全衛生工学、労働衛生学、粒子状物質や化学物質の曝露評価、安全工学、安全衛生マネジメント (橋本訓教授・松井康人准教授)	
11	放射能環境動態、環境中での放射性・安定同位体の分布挙動の研究 (藤川陽子准教授)	
12	放射性廃棄物管理、原子力技術の安全性研究及び有害物質の環境中での移行挙動の研究 (福谷哲准教授)	

II. 募集人員

都市環境工学専攻 9名

III. 出願資格

選考方法には、①一般学力選考、②社会人特別選考、③論文草稿選考、④融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考がある。①～③の選考方法により合格した場合、入学後の教育プログラムの選択ができる。詳細については、VII. 入学後の教育プログラムの選択及びVIII. 教育プログラムの内容についてを参照すること。それぞれの選考試験における出願資格は下記のとおりである。

(1) 一般学力選考

- ・ 京都大学大学院工学研究科平成31年度第2次博士後期課程学生募集要項（以下「募集要項」と略す）4ページ「II 出願資格と出願資格の審査」を参照。

(2) 社会人特別選考

- ・ 募集要項4ページ「II 出願資格と出願資格の審査」を参照。

(3) 論文草稿選考

- ・ 大学院の修士課程を修了した者、あるいは募集要項4ページ「II i 出願資格(6)」に該当する者を対象とする、博士学位論文草稿及び研究業績の審査による選考試験。社会人も対象とする。博士学位論文草稿は、研究がある程度完成しており1年程度で学位論文として提出可能なものとする。

(4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

- ・ 募集要項4ページ「II i 出願資格」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」のみを志望する者。

IV. 学力検査日程

選考方法により下記のとおり実施する。なお、口頭試問の時刻など、詳細は事前に、桂キャンパスCクラスターC1棟191号室（1階、大講義室）西側廊下の専攻掲示板に掲示するので、注意すること。

(1) 一般学力選考及び社会人特別選考

年月日	時間 試験科目	試験室
平成31年2月12日（火）	13:00～ 口頭試問	桂キャンパスCクラスターC1棟152号室(1階)、他
平成31年2月13日（水）	9:00 ～17:00 口頭試問	桂キャンパスCクラスターC1棟152号室(1階)、他

(2) 論文草稿選考

年月日	時間 試験科目	試験室
平成31年2月13日（水）	9:00 ～17:00 口頭試問	桂キャンパスCクラスターC1棟152号室(1階)、他

(3) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問の試験日時及び試験室については別途通知する。

【学力検査に関する注意事項】

- ・ 口頭試問の試験日時及び集合時間は別途通知する。
- ・ 別途指示がない場合には、口頭試問開始時刻10分前までに、受験者控え室（桂キャンパスCクラスターC1棟107号室(1階)）に集合すること。
- ・ 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・ 口頭試問における研究内容、研究計画などの口頭発表では、コンピュータと接続可能なプロジェ

クターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。

V. 入学試験詳細

(1) 一般学力選考

口頭試問により、合否を判定する。なお、TOEFL、TOEIC または IELTS による英語の得点が下記の口頭試問での評価に算入（1000 点中 100 点）される。

(a) 口頭試問（1000 点満点）

- 修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容及びそれに関連する分野の基礎学力と博士後期課程での研究計画に関する試問を行う。これまでの研究内容と研究計画に関する口頭発表（25 分以内）の後、試問（口頭発表とあわせて 60 分程度）を行う。

【注意】 TOEFL については、受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）を都市環境工学専攻が指定する Institution Code：C121 により、期日までに工学研究科都市環境工学専攻に提出されるように手続きするとともに、上記の受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可）を提出すること。また、TOEIC の場合は公式認定証（Official Score Certificate）、IELTS の場合は成績証明書（Test Report Form）（以下、これらを成績証明書と略す）を提出すること。詳細は、VI. を参照。

(2) 社会人特別選考

口頭試問により、合否を判定する。

(a) 口頭試問（1000 点満点）

- 今まで研究した内容、業績及びそれに関連する分野の基礎学力と博士後期課程での研究計画に関する試問を行う。研究内容、業績及び研究計画に関する口頭発表（25 分以内）の後、試問（口頭発表とあわせて 60 分程度）を行う。

(3) 論文草稿選考

博士学位論文の草稿の審査と、口頭試問により、合否を判定する。

(a) 草稿審査

- 審査委員長（希望指導教員）及び他の 2 名の審査委員が、選考試験実施日までに博士学位論文草稿の審査を行う。

(b) 口頭試問

- 博士学位論文草稿、研究経過及びこれまでの研究業績に関する試問を行う。口頭発表（10 分程度）の後、試問（口頭発表とあわせて 30 分程度）を行う。

(4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問により、合否を判定する。なお、TOEFL、TOEIC または IELTS による英語の得点が下記の口頭試問での評価に算入（1000 点中 100 点）される。

(a) 口頭試問（1000 点満点）

- 修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容及びそれに関連する分野の基礎学力と博士後期課程での研究計画に関する試問を行う。

【注意】 TOEFL については、受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）を都市環境工学専攻が指定する Institution Code：C121 により、期日までに工学研究科都市環境工学専攻に提出されるように手続きするとともに、上記の受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可）を提出すること。また、TOEIC の場合は公式認定証（Official Score Certificate）、IELTS の場合は成績証明書（Test Report Form）（以下、これらを成績証明書と略す）を提出すること。詳細は、VI. を参照。

(5) 有資格者及び合格者決定法

(a) 一般学力選考、社会人特別選考、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考
口頭試問が 600 点以上の者を有資格者とする。その中から合格者を決定する。

(b) 論文草稿選考

草稿審査に合格し、かつ口頭試問が 600 点以上の者を有資格者とする。その中から合格者を決定する。

VI. 出願要領

募集要項の「Ⅲ 出願書類等」に記載の出願書類等を工学研究科に提出するとともに、各選考方法に対応した以下に示す別途提出書類を下記の京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻 入試担当）へ提出または郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

・提出先：〒615-8540 京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻 入試担当
TEL：075-383-2967

(1) 別途提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

(a) 一般学力選考、社会人特別選考及び融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の受験者

下記①～⑦の別途提出書類を、平成 31 年 1 月 9 日（水）午後 5 時（必着）までに、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻 入試担当）へ提出すること。

- ① 別途提出書類届（様式-D 1）
- ② 志望する指導教員調書（様式-D 2）
- ③ 成績証明書（出身大学学部及び出身大学院修士課程のもの）。ただし、外国人留学生書類審査または別途資格審査に成績証明書を提出している者は不要。
- ④ これまでに行った研究内容及び博士後期課程での研究計画に関するレポート 4 部（A4 判、本文 5 ページ程度、図面を含めて 10 ページ以内、日本語か英語で記載のこと）。
- ⑤ 社会人特別選考の受験者は、④に加えて、これまでの研究業績リスト、及び発表演文コピーを 1 部提出すること。
- ⑥ 一般学力選考及び融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の受験者は、TOEFL については、受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可）、TOEIC または IELTS の場合は成績証明書（TOEFL、TOEIC および IELTS について平成 27 年 2 月 1 日以降に実施された試験に限る）。あるいは、英語を母語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式-D 3）を提出してもよい。
- ⑦ 次ページ「Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択」を参照し、入学後の教育プログラム履修志望調書（様式-D 4）に、教育プログラムの志望順位を記入し、提出すること。提出にあたっては、予め志望する指導教員と十分相談しておくこと。

【英語成績の提出について（一般学力選考及び融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考の受験者）】

- ・TOEFL については、受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）を都市環境工学専攻が指定する Institution Code:C121 により、平成 31 年 2 月 6 日（水）までに工学研究科都市環境工学専攻に提出されるように手続きしなければならない。
- ・TOEFL の上記受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可）、TOEIC または IELTS の成績証明書（TOEFL、TOEIC および IELTS について平成 27 年 2 月 1 日以降に実施された試験に限る）を何らかの理由で、上記期限までに提出できない者は、「入試別途書類（博士・英語）」と朱書した封筒で、平成 31 年 2 月 6 日（水）の午後 5 時必着で、「京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻 入試担当）」に提出または郵送しなければならない。
- ・TOEFL の場合は TOEFL-iBT (internet-Based Test) 及び TOEFL-PBT (Paper-Based Test)、TOEIC の場合は日本または韓国で実施される TOEIC 公開テストの成績証明書のみ受け付ける。なお、TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効なので注意されたい。
- ・成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
- ・英語の評価は口頭試問の評価に算入（1000 点中 100 点）される。英語を母語とする受験生は「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式-D 3）を本専攻に予め提出することにより上記成績証明書の提出を免除し、口頭試問で英語力を評価する。
- ・TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。
TOEFL: 国際教育支援協議会 (CIEE)・TOEFL 事業部
TEL: 0120-981-925、<http://www.cieej.or.jp/toefl/>
TOEIC: (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC 運営委員会
TEL: 06-6258-0224、<http://www.toeic.or.jp/>
IELTS: (公財)日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852
(公財)日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286
<http://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

(b) 論文草稿選考の受験者

下記①～⑥の別途提出書類を、平成 31 年 1 月 9 日 (水) 午後 5 時 (必着) までに、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛 (都市環境工学専攻 入試担当) へ提出すること。

- ① 志望する指導教員調書 (様式-D 2)
- ② 博士学位論文草稿 4 冊
- ③ 研究歴書 4 通
- ④ 研究業績リスト 4 通
- ⑤ 入学後の教育プログラム履修志望調書 (様式-D 4)
- ⑥ 博士学位論文草稿の概要 4 部 (A4 判、本文 5 ページ程度、図面を含めて 10 ページ以内、日本語か英語で記載のこと)

VII. 入学後の教育プログラムの選択

博士後期課程入学後には複数の教育プログラムが準備されている。いずれの教育プログラムを履修するかは、志望と入試成績に応じて入学までに決定する。本専攻の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- 博士課程前後期連携教育プログラム (融合工学コース)
人間安全保障工学分野
- 博士課程前後期連携教育プログラム (高度工学コース)
都市環境工学専攻

詳細については、募集要項の「IX 博士後期課程入学後の教育プログラムについて」を参照すること。

VIII. 教育プログラムの内容について

【融合工学コース】

募集要項の「X 教育プログラムの内容 (融合工学コース)」を参照すること。

【高度工学コース】

都市環境工学専攻の高度工学コースでは、「顕在化/潜在化する地域環境問題の解決」、「健康を支援する環境の確保」、「持続可能な地球環境・地域環境の創成」、「新しい環境科学の構築」を理念とし、地球環境問題及び地域固有の環境問題の解決に貢献する幅広い基礎学力、問題設定・解決能力及び高い倫理観を備えたこの分野の次世代のリーダーとなる研究者・技術者を育成します。このコースでは、1 年次から論文研究を中心として、最先端の環境研究手法を習得します。また、環境工学/科学の全領域をカバーする体系的なカリキュラムにより、工学はもとより、医学・社会学・経済学から倫理学に及ぶ環境問題に関わる様々な学理について教授します。

IX. その他

○問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻 入試担当
TEL : 075-383-2967

当専攻のより詳しい情報は、<http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/>を参照のこと。